

令和5年度(2023年度)年間授業計画				目 標	人間としての在り方を学び、社会でよりよく生きるために、主体的・協働的学習により問題解決能力を育てる。 体験活動により道徳性を養い価値判断を高め、よりよい生き方の主体的選択力を育成する。 進路の意識を高め、将来の自己の生き方を選択する能力や態度を育成する。 情報を整理し、まとめる能力を育成し、各教科・科目等で培われた知識・技能を統合する力を育成し自立を図る。	教科書	「人間と社会」(教育出版)
講座名	人間と社会	科目名	総合的な探究の時間			副教材	特に無し
単位数	1単位	区 分	必修				
年 次	1年次	形 態	クラス単位				
担当者名	1組 外池・中野 2組 橋本・赤石 3組 石川・市石 4組 佐々木・東原 5組 山村・大草 6組 原・前原 7組 井口・元木 8組 堀内・菅原						

	第1学期		第2学期		第3学期
	<第1定期考査>	<第2定期考査>	<第3定期考査>	<第4定期考査>	<第5定期考査>
授業内容	教科「人間と社会」のねらい スマートフォン時代のコミュニケーションについて 高校での学びについて 探究ガイダンス 探究活動(論理コミュニケーション) 進路ガイダンス	支え合う社会 チームコンセンサス・ワークショップ 探究活動(論理コミュニケーション) グループ討論、発表	夏季休業中の学習成果のまとめ・発表・評価 探究活動(論理コミュニケーション) 防災訓練	学生図書館オープンキャンパス 大学訪問 探究活動(論理コミュニケーション) 探究活動のまとめ 主権者教育	探究活動(論理コミュニケーション) データ処理・研究倫理 学習成果のまとめ、発表、評価 自然と人間の関わり
定期考査 までの 授業時数	4時間	5時間	5時間	4時間	7時間

	観点		方法	基準		
				A	B	C
評価	知識・技能	課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身につけ、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解している。	日常の取り組み 論理コミュニケーションの検定	文章による評価	文章による評価	文章による評価
	思考・判断・表現	実社会や実生活と自己との関わりから問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができる。	日常の取り組み 論理コミュニケーションの検定	文章による評価	文章による評価	文章による評価
	主体的に学習に取り組む態度	探究に主体的・協働的に取り組むとともに、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとしている。	日常の取り組み	文章による評価	文章による評価	文章による評価

日常の学習方法	①人間と社会 グループ単位で、防災訓練、大学訪問調査、外部と連携した体験活動を通じて、調査研究、レポート作成および発表を行う。 ②探究活動 ホームルーム全体、あるいは、ホームルーム内小グループで、論理的な思考方法やコミュニケーション力の伸張を目指して、協働的活動あるいは討論活動等を行う。
---------	---

大学受験や発展的な内容との関連	学問内容について調査研究を行い、将来の自己の進路との関わりを考え、様々な大学の入試形態について調査研究を行い、自己の進路選択を進める。
-----------------	---

令和5年度(2023年度)年間授業計画				目 標	人間としての在り方を学び、よく生きるために、主体的・協働的学習により問題解決能力を育てる。 体験活動を通して道徳性を養い価値判断を高め、よい生き方を主体的に選択する力を育成する。 進路の意識を高め、将来の自己の生き方を選択する能力や態度を育成する。 情報を整理しまとめる能力を育成し、培われた知識・技能を統合する力を育成し自立を図る。	教科書	特に無し
講座名	総合的な探究の時間	科目名	総合的な探究の時間			副教材	一生使える探究のコツ 実践の手引き 課題研究編
単位数	1単位	区 分	必修				
年 次	1年次	形 態	クラス単位				
担当者名	1組 齋藤・佐藤 2組 清水・渡辺 3組 小池・高橋 4組 森・久保 5組 藤本・植場 6組 道廣・佐伯 7組 島野・青木 8組 松田・竹生						

授業内容	第1学期		第2学期		第3学期
	<第1定期考査>	<第2定期考査>	<第3定期考査>	<第4定期考査>	<第5定期考査>
ガイダンス 問いを立てるとは グループ探究		グループ探究	グループ探究	グループ探究 個人探究 社会人による講演会	個人探究 個人探究中間報告
定期考査 までの 授業時数	4時間	5時間	5時間	4時間	7時間

観点	方法	基準			
		A	B	C	
知識・技能	課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身につけ、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解している。	日常の取り組み 発表会	文章による評価	文章による評価	文章による評価
思考・判断・表現	実社会や実生活と自己との関わりから問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができる。	日常の取り組み 発表会	文章による評価	文章による評価	文章による評価
主体的に学習に取り組む態度	探究に主体的・協働的に取り組むとともに、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとしている。	日常の取り組み	文章による評価	文章による評価	文章による評価

日常の学習方法	グループでの探究活動、個人での探究活動を行う
---------	------------------------

大学受験や発展的な内容との関連	進路希望に基づいた生き方を実現する方法を考えるとともに、連携先大学等の校内での学問紹介を活用しながら、これまでの知識や技能を統合して、設定テーマの探究を行い、進路研究を充実させる。
-----------------	--

令和5年度(2023年度)授業計画				目 標	自らの専門領域に関して、自ら課題を見つけ、学び、考えさせる能力を育てる。 主体的学びを深めるための基礎技術習得、成果発表を通じての主体的学びの伸長を支援する。 人間としてのあり方を学び、社会で良く生きるために、主体的・協働的学習により、問題解決能力を育て	教科書	特になし
講座名	総合的な探求の時間	科目名	総合的な探求の時間			副教材	特になし
単位数	1単位	区 分	必修				
年 次	3年次	形 態					
担当者名	1組 渡辺 2組 石村 3組 増澤 4組 中西 5組 加賀山 6組 倉股 7組 増元 8組 大久保						

学校行事	第1学期	遠足 <第1定期考査>	<第2定期考査>	第2学期	木もれ陽祭 <第3定期考査>	<第4定期考査>	第3学期	<第5定期考査>
授業内容	課題研究	課題研究	夏季休業期間	課題研究	課題研究	冬季休業期間	課題研究(個別活動)	
		研究の途中経過のまとめ	課題研究	研究の成果のまとめ	研究の成果のまとめ・発表		3年間のまとめ	
定期考査までの授業数	4時間			5時間	4時間			7時間

実カテスト 実技テスト 課題テスト				

評価の観点 評価方法	①自ら課題を見付け、自ら調べ、自ら考え、主体的に判断し課題を解決しようとする能力や態度が育成されたか。 ②情報の集め方、調べ方、まとめ方、報告や発表の仕方などの学び方、ものの考え方、統合する力が身に付いたかどうか。
---------------	--

日常の 学習方法	興味・関心、進路等に応じて設定した課題研究テーマに沿って、個人ごとに調査研究を行う。
-------------	--

大学受験や 発展的な内容との関連	諸大学との外部連携を図り、校内での学問紹介などの機会を利用し、自らの調査研究に活かす。
---------------------	---